# 運動を前進させよ

## 宮浦〔電気分会〕で平和懇談会

中東問題をめぐり世界の世論は平和への希求をたかめている。来月行われる原水爆禁止世界大会を前に、平和運動はひろがり質的に大きな前進をみているが、宮浦支部電気分会では、平和行進が出発した七月十八日、組合会議室で十八名があつまり、平和懇談会をもよおした。

### 組織的でない

司会　平和を理解し、運動に参加することはちよつとむづかしい故か、あまり問題にならない。来月は平和月間をむかえ、今日は有志が歩いている。さらに二十六、七日はキャンプがひらかれるし、中東の情勢は大きく動いている。

われわれのすすむ方向について十分検討し討論をねがいたい。

A　英国では、核兵器反対の大デモがおこなわれており、国際的にはこの問題で活動が相当激しくなつているようだ。

B　日本では原水爆反対の署名が三千万以上あつまつたというがそれなりに終つてしまつて、具体的に核兵器もちこみや、基地拡張などについては、局部的な反対運動になつていて、全体的な運動としては組織もされないし、発展もしていない。運動をもう一歩前進さすべきだ。

C　平和のハトバツヂをつけたときは一時的に広がつたが、カンパニヤがすんだら尻すぼりになつてしまつた。この辺の盲点をはつきりさせなければならない。

### 平和運動の弱点は

D　平和行進をやつても何の役にもたたんと思うが？

B　われわれは、その時々の具体的な問題に的確に答えていなかつた弱点があるし、こと平和の問題については、全国民が統一できるのを労働者の立場から積極的に運動をすすめて行かなかつた。むしろ問題はここにあるのだから、平和行進が無駄だとはかんがえない。

E　核実験反対というが、スイスでは核武装をやるといつているぞ、中立国でさえやるといつているじやないか。

A　スイスが核武装することは中立国だからゆるされるという問題ではない。ソ連では人類を破滅にみちびく核兵器は、実験を一方的に中止すると宣言したろう。

E　ソ連は実験を終つたから中止したんだ。

F　平和の問題は裏返しの戦争についてかんがえたらよい。

E　社会主義国だから戦争をしかけない保証はなかろう。

### 戦争の原因をみつめよ

F　社会主義国と帝国主義国を同等におくのは間違いだ。労働者が権力をにぎつているのに殺し合いをする必要がどこにある。戦争とは国を異にした労働者同志が殺し合うことだろう。さらに戦争の原因は資本主義にある。利潤追及のためには生産物もこわすし、他国へも平気でせめ入る。現に中東がよい例だろう。

司会　大まかなことが大体出されたから具体的にこんごの問題、とくに勤評反対闘争について一つ。

G　自分はこの問題を将来の子供の問題としてとらえた。

B　勤評は子供からさらに労働者の問題としてみてゆかねばならないとおもう。地域共闘で話すだけでなく、全労働者のストを打つてでも闘わなければ民主教育は守れない。

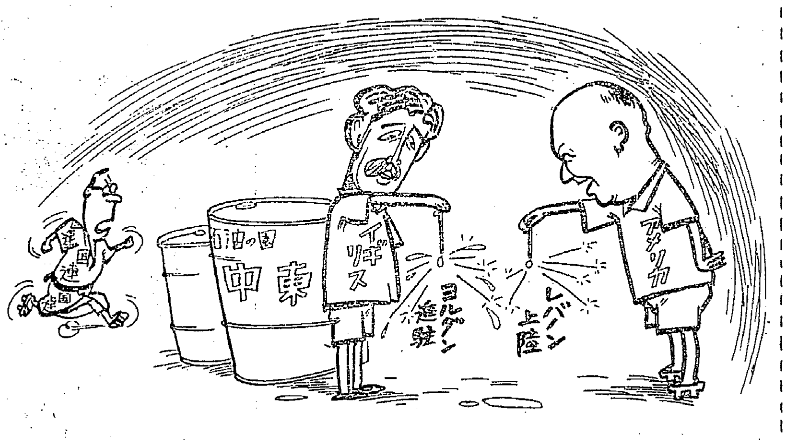
### 組合も運動へ積極的に

A　俺達は炭鉱でいやというほど身につけているが、職制の支配とは本当にいやなもんだ。勤評もこれでしめ上げてゆくんだからな。

司会　本日は十分な討議はできませんでしたが、あるていど理解を深めることはできたと思います。次回は具体的に活動の点まで検討できるようにし、もつと事実をしる機会をつくらねば駄目だとおもう。

平和運動については組合自身も協力体制が欠けているようだから積極的な協力を要望する。

なおその他の問題は紙面の都合ではぶきました。


国連
石油の国
中東
イギリス
アメリカ
ヨルダン進駐
レバノン上陸

あぶない花火――親の監督も厳重に……――

# 大衆と結びつけ

## 大牟田で九州活動者会議

「……闘いの中に、嵐の中に、若者の心はきたえられる……」

力にみちあふれた歌声が、三鉱労組本部の会議室にひびきわたる。全九州のうたごえの仲間たち百四十名の大合唱である。棒を振つているのは、中央合唱団の指揮者で有名なチエロリストの井上頼豊氏

「駄目です！それじや〃闘い〃という内容のうたい方には遠い、一体、この歌の〃闘い〃とはどういうことでしようか、はい意見を出して…」

あちらこちらから手が上り、「団結のための闘い」「平和を守る闘い」「階級の闘い」「自分を改造するための闘い」等発言が起る。

「そうです。そういう色々の闘いです。つまり国民全体の闘いですつまり国民全体の闘いの心を表しているのです。それをもつと的確に表現して下さい。さあもう一度よく口をひらいて…」

ふたたび、新しい意欲がもり上つて、一層活気づいたうたごえがひびきわたる。

### 今回は大牟田で開く

「うたごえは平和の力」のスローガンの下、労働者の力づよいうたごえを結集する「全九州うたごえ祭典」は年とともに発展しつづけているが、今年第六回の祭典は炭鉱のド真中、大牟田市で開催しようということになつた。これにさきだち、全九州うたごえのよりよき発展をめざして、七月十九、二十日の両日にわたり「全九州うたごえ活動者会議」をひらいた。前記のレツスン風景は、その第一日の一こまである。酷暑に負けず、全九州から集つたサークルの活動者、組合代表者達百余名と地元の参加者四十名が、運動の本質を見極めようと熱心にレツスン、聴講、討論をくりひろげる。

〇うたごえ運動とは、国民のもつているうたごえを引出す運動、社会問題を真直にみつめ、それを内容としてうたい上げてゆく音楽の社会運動であるのです。

〇そしてそれは、音楽家、専門家と結びつき、国民の要求を、意識的に外に向つて表現し、ひろげて行く運動であり、ここからうたごえは〃平和の力〃につながつて行くのです。

井上氏の講演「音楽と社会」によつて、運動の本質に対する認識をふかめた一同は、その統一した心で〃闘いの中に〃をうたい続ける。

### うたごえは停滞していない

第二日目は、労働会館で午前十時より討論会を開催、中央音楽センターの今藤氏国鉄サークル協議会の永井氏を囲み「九州におけるうたごえ運動の現状」「第六回九州のうたごえ祭典にどうとりくむか」について、白熱的な討論が交される。主な内容として

イ、うたごえ運動は停滞していない。停滞し混乱したのは、活動者の活動意欲と運動の本質に対する態度であつたこと。

ロ、それは運動の発展を阻害しようというたくらみの力によつて初まり、内部から運動の質を変えてゆく巧妙な方法によつて拍車がかけられた。この中からサークルの自主性が失われ、またサークル内のことしか考えないというセクトが生れたこと。

ハ、職場においては組合員大衆との結びつきが浅く、大衆運動としての迫力に欠けていたこと。

等が摘出され、運動の欠陥と弱点を批判する中で、今後の方向に一致した認識をもたらし、九州全体にもつと広く、強くうたごえをひろげるための意志が統一された。福岡でおこなわれている平和大会への激励電文を発送し、会終了後自労の首切反対座り込みの前で激励のうたをうたい、全九州の活動者達は、来るべき十月の祭典まで新しい運動感覚をもつて活動を展開するよう誓い合いのうちに午後四時散会した。

暑さも忘れ討論を繰返す（組合会議室で）

# 平和の誓い固める

## 大名小学校で県民大会

延々百キロの行程を、平和を心にさけびつづけながら、大牟田、田川、門司の三路線から行進をすすめた平和行進は二十日福岡市内各単産労働者の歓迎陣と合流し、市内大名小学校の会場へ結集した。満場立すいの余地もなく、炎天下の行進に汗にまみれた体臭も、本大会にふさわしい雰囲気をかもしだしている。肩にかけたタスキ、いろとりどりの帽子、雑然としたなかにも、平和への道を、力強くすすんできたたくましさが感じられる。総数一、二〇〇名、日焼けした黒い顔、汗のしみをつくつたシヤツ、疲れた様子もみせないこれらの人々こそ、世界で最初の、そして唯一の原爆の洗礼をうけた日本国民の心からの抵抗のすがたであり、真に平和を祈る真執なすがたであろう。しかしそれと同時に、この平和行進に、湯茶の接待をし、旗をふり、手をたたいてくれた沿道の数多くの人々も、またおなじように原水爆に反対し、民主々義擁護を強くねがう人々であることをわすれてはならない。

議長の「米英の中近東にたいする軍事干渉は、核兵器もちこみという重大かつ第三次世界大戦の様相を……かかる時期に、本大会がひらかれることは、もつとも当をえたものであり、その成果は非常に期待されるものである」との挨拶に、会場は万雷の拍手のうちに、ますます平和への誓いをかためた。県原水協、社会党、共産党など各団体のメッセージ、祝電の披露、つづいて三路線の各代表が意見発表をおこなつたが、中心点は一致して(1)レバノン、ヨルダンからの撤兵こそ、米英にとつて、否、全世界の平和のための緊急事であり、そのためにわれわれ日本国民が全世界にそのよびかけをなすべきである。(2)岸政府は米国の行動にたいしては批判的態度をとりながら安保理事会では、米国に援助的な発言をしているが、このことは、真に平和を希求する政府のとるべき態度でない、ということであつた。とくに感銘深かつたのは、原爆被災者代表の意見発表であつた。戦争犠牲者としては、もつとも惨酷であり、生涯おびえながら、精神的苦痛を背負はされたこれらの人々には、何らの社会保障もなされず、軍人恩給の増額のみが講ぜられることを切々として訴へられ、世間の片隅にわすれ去られようとするこの人々が、被爆者協議会の結成に努力しつつある事実をしり感激と昂奮のうちに、拍手は鳴り響き、ともに協力しあうことを誓つた。

大会は二時間あまり文字どおり盛会裡に終了したが、われわれは本大会からうけた平和への結集された力の強さを、それぞれの地域で拡大させる努力をおこない、真の世界平和の訪れるまで、頑張りあうことを誓い散会した。

# 中国敵視やめよ

## 日中関係打開　労働者大会ひらく

緊急事態となつた日中関係の打開をめざす総評主催「日中関係打開労働者大会」は十二日午後一時半から、東京・日比谷の野外音楽堂で労働者約五千人（大会事務局発表）が集まつてひらかれた。

会場には「第四次日中貿易協定の即時完全実施、日中漁業協定の継続と発展」「日台条約を廃棄し、ただちに中国との国交を回復せよ」「沖縄をふくむ日本の核武装反対、日・韓・台軍事同盟反対」「日中労働者間における申合せ、協定事項の再確認と連帯行動の強化」の四つのスローガンが掲げられていた。

大会は議長団選出につづいて日中国交回復国民会議風見章、日本共産党川上貫一、日本社会党浅沼稲次郎、日中友好協会内山完造の各氏らがあいさつ、中国総工会からの祝電披露ののち、政府に対する抗議と「われわれは労働者階級の指導的役割を痛感しつつ日本のあらゆる平和勢力と力をあわせて岸内閣の政策と対決しその転換を要求して闘いぬく」との大会宣言を採択、散会後東京駅八重州口までデモ行進をおこなつた。

【政府に対する抗議】（要旨）

政府は中国敵視政策をやめただちに(1)第四次貿易協定を完全に実施することを保障し、日中漁業協定を継続する立場を明らかにせよ。(2)日台条約を破棄し、日中の国交回復について交渉する態度をしめせ。(3)沖縄をふくむ核非武装宣言に同調し、さらに東南アジア軍事同盟に反対の態度を明確にせよ。(4)バンドン会議の十原則を順守する立場を保障せよ。

### 日本人民に友好的

中華全国総工会から日中関係打開労働者大会によせられた祝電全文はつぎのとうり。

われわれはつつしんでみなさんの大会に熱烈な支持と慶祝を表します。アメリカに追随して中国人民を敵として東南アジアに対する経済拡張を積極的におこない、日本の軍国主義復活をたくらみ、日本の労働者と人民を弾圧する岸政府の政策は、日本のひとにぎりのもつとも侵略性にとんだ大独占資本家の帝国主義的な野心を反映しています。岸政府はアメリカの助けのもとで日本を災難のどん底におとしいれ、アジアと極東の平和に重大な脅威をもたらしています。みなさんの大会は、中国人民との友好、中日の国交回復、平和、民主主義、独立を要求する日本人民のつよい願望とたたかいの決意をしめしています。中国の労働者と人民は、日本の労働者と人民に対していつも友好的です。われわれはあなた方の平和、独立の道をあゆむことをたたかいとる闘争に対して一貫して最大の同情をよせ積極的に支持しています。中国の労働者と人民は日本の独占資本グループと岸政府の潜在的な帝国主義的野心に断固として反対します。日本の労働者の、人民の正義の闘いは、中国の労働者と人民のゆるぎない支持をえるだけでなく、世界各国の平和と友好を愛する人民の広範な同情と支持をえることもできます。

# 会社スト破りを雇つて対決

## アサヒタクシーの闘い

合同労組アサヒタクシー支部二三名は去る五月二十三日、一人一日二〇〇円の賃上げを要求し、会社と数回にわたる交渉をおこなつてきたが、会社の「赤字だ。九月末まで待つてくれ」との一点張りの回答に交渉は決裂、七月二十一日午後七時から第一波二十四時間ストに突入、さらに二十二日十八時間の時限ストをおこなつた。

アサヒタクシーは去る二月十八日七人の一齊解雇をはね返して組合を結成、大地評合同労組に全員加盟した。当時最低一〇〇円、最高二四〇円（完全固定給）の賃金を最低一五〇円―三四〇円に改正させた。けれども十六時間の長時間勤務と過去の借金のなかではどうしても食えないため、五月二十三日、一人二〇〇円の賃上げを要求したものである。

その間十数回にわたつて交渉をつづけ、あらゆる面で会社にも積極的に協力したが、会社は解雇、尾行などのいやがらせをおこない、組合の切り崩しにかかつた。その上「黒字だが金がないからだめだ」と回答をおこない、時日を延ばしている。

この間組合は、事態の混乱を防ぐため、紳士的に行動すること、会社はスト破りなどの行為をしないことを申入れ、早期解決をはかつたが、会社は二十二日になるや四名のスト破り要員を雇入れ、会社がわの身内など計十一名で操業している。組合ではこれに対して二十一日から無期限の早出、当直拒否を続けて闘つており、ハンドルをにぎる組合員は、はち巻しめて悲相な姿で闘つている。